

(7) 調査結果のまとめ (H29～30)

平成 29 年度実施分を含めた全調査における確認種及び重要な鳥類の状況を整理した。

ア) 確認種

鳥類確認種一覧は表 3-2(18)に示すとおりである。

合計で 47 科 190 種の鳥類が確認され、うち石狩市域内ではシジュウカラガンを除く 47 科 189 種、市外では 17 科 52 種が確認された。なお、シジュウカラガンは美唄市宮島沼で確認されている。

確認種をエリア別にみると、A エリアで 37 科 106 種、B エリアで 42 科 127 種、C エリアで 40 科 144 種、D エリアで 37 科 118 種、E エリアで 11 科 36 種と C エリアが最も多く、次いで B、D エリアと続いた。

イ) 重要な鳥類

重要な鳥類の確認種一覧は表 3-2(19)に、確認位置は図 3-2(27)～(65)に示すとおりである。

合計で 16 科 37 種の重要な鳥類が確認され、うち石狩市域内でシジュウカラガンを除く 16 科 36 種、市外で 7 科 17 種が確認された。

なお、ウズラについては猛禽類調査時に B エリアで確認されているが、本調査は猛禽類を対象としており、その他の鳥類はリストの記録のみとしていたことから、確認位置の詳細が不明である。

表３－２（18） 全調査確認種一覧(1/4)

No.	目 名	科 名	種 名		調査項目別確認種									調査時期別確認種										調査エリア							
			和 名	学 名	冬鳥	繁殖鳥	洋上	荒任	海任	ワ渡	春渡	秋渡	猛禽	12月	1月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	A	B	C	D	E	市外		
1	キジ目	キジ科	エゾライチョウ	<i>Tetrastes bonasia</i>								○										○	○								
2			ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>									○							○					○						
3			キジ	<i>Phasianus colchicus</i>		○				○	○	○	○	○				○		○	○			○		○	○	○			
4	カモ目	カモ科	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>								○	○									○				○		美唄市、江別市、岩見沢市			
5			マガン	<i>Anser albifrons</i>									○	○									○		○	○	○	○	月形町、美唄市、江別市、岩見沢市		
6			シジュウカラガン	<i>Branta hutchinsii</i>																									美唄市		
-			ガン類	<i>Anser</i> sp.										○	○									○	○					当別町、江別市、札幌市	
7			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>										○	○									○		○	○	○		新十津川町、当別町、月形町、美唄市、江別市、岩見沢市	
8			オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>										○	○									○	○	○	○	○	○	当別町、美唄市、江別市、札幌市	
-			ハクチョウ類	<i>Cygnus</i> sp.										○	○									○		○	○	○	○	当別町、美唄市、札幌市	
9			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>		○								○	○	○					○		○	○	○	○	○	○		当別町	
10			オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>										○														○			
11			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>										○	○												○	○		当別町、月形町、札幌市、岩見沢市	
12			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>										○	○									○	○		○	○	○	当別町、月形町、美唄市、札幌市、岩見沢市	
13			アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>										○													○				
14			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	当別町、月形町、美唄市、札幌市、岩見沢市
15			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>			○					○	○	○	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○		当別町、月形町、江別市、札幌市、岩見沢市	
16			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>										○	○												○	○		当別町、月形町、岩見沢市	
17			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>					○		○	○	○		○		○	○					○	○	○	○	○	○	○	当別町、月形町、美唄市、札幌市、岩見沢市	
18			シマアジ	<i>Anas querquedula</i>										○	○								○				○	○			
19			コガモ	<i>Anas crecca</i>										○	○								○	○	○		○	○		当別町、美唄市、江別市、札幌市、小樽市	
-			カモ類	<i>Anas</i> sp.										○	○									○				○	○	当別町、札幌市	
20			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>										○														○		当別町、札幌市	
21			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>										○													○	○		当別町	
22			スズガモ	<i>Aythya marila</i>					○					○	○									○	○	○	○	○	○		
23			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>					○		○	○			○		○	○						○	○		○	○			
24			ピロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i>							○				○											○					
25			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>		○			○		○	○			○	○	○	○							○	○	○	○	○		
26			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>								○	○											○			○	○		当別町、月形町、美唄市、江別市、札幌市、岩見沢市	
27			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	当別町	
28			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>					○		○	○			○		○	○							○	○			○		
29	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>								○	○										○	○	○	○	○		当別町、美唄市		
30			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>				○		○			○		○									○		○	○	○	○		
31			ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i>						○	○			○												○			○		
32			ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>																							○	○			
-			カイツブリ類	<i>Podiceps</i> sp.													○											○			
33	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>		○											○	○				○	○	○		○	○				
34			キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>		○										○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		当別町		
35			アオバト	<i>Treron sieboldii</i>		○												○	○	○			○		○	○	○				
36	アビ目	アビ科	アビ	<i>Gavia stellata</i>						○				○											○						
37			オオハム	<i>Gavia arctica</i>				○										○										○			
38			シロエリオオハム	<i>Gavia pacifica</i>				○										○													
-			アビ類	<i>Gavia</i> sp.				○		○								○	○									○			
39	ミズナギドリ目	ミズナギドリ科	オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomelas</i>			○														○						○				
40			アカアシミズナギドリ	<i>Puffinus carneipes</i>				○														○						○			
-			ミズナギドリ科	PROCELLARIDAE sp.				○										○										○			
41	カツオドリ目	ウ科	ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i>			○			○	○	○		○									○		○	○		○			
42			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>							○	○	○							○			○	○	○	○	○		当別町		
43			ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	増毛町、当別町	
44	ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>		○					○	○	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○		美唄市			
45			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								○	○	○					○			○	○		○	○			美唄市		
46			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>									○										○				○				
47	ツル目	クイナ科	オオバン	<i>Fulica atra</i>							○						○									○					
48	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>								○							○						○						
49			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>		○														○						○					
50			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>		○												○	○	○				○	○	○	○				
51			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>		○								○				○	○	○					○	○	○	○			
52	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>								○	○					○	○		○			○	○	○					
53			アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>									○					○	○					○	○	○					

表 3－2 （18） 全調査確認種一覧 (2/4)

No.	目 名	科 名	種 名		調査項目別確認種								調査時期別確認種										調査エリア							
			和 名	学 名	冬鳥	繁殖鳥	洋上	荒任	海任	ワ渡	春渡	秋渡	猛禽	12月	1月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	A	B	C	D	E	市外	
54	チドリ目	チドリ科	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>								○					○									○				
55			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>									○					○									○			
56		シギ科	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>									○					○								○				
57			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>		○								○	○									○	○	○			当別町	
58			タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>										○	○							○	○			○	○			
59			チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>										○					○								○			
60			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>																		○					○			
61			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>																		○	○				○	○		
62			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>																			○				○			
63			イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>											○	○	○				○		○	○	○	○		○		
64			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>																			○				○			
65			ヨーロッパトウネン	<i>Calidris minuta</i>																			○				○			
66			ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>																			○				○			
67			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>																				○			○			
68			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>																			○				○			
69			アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>					○													○							○	
70		カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>									○	○				○					○			○	○			
71			ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>										○					○								○	○		
72			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○	○	○			○			○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	増毛町	
73			カモメ	<i>Larus canus</i>					○			○	○	○			○						○			○	○	○		
74			ワシカモメ	<i>Larus glaucescens</i>					○			○	○	○			○							○		○	○	○		
75			シロカモメ	<i>Larus hyperboreus</i>	○			○			○	○	○		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
76			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>				○			○	○	○		○		○	○						○		○	○	○		
77			キアシセグロカモメ	<i>Larus cachinnans</i>													○										○	○		
78			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
79			ニセセグロカモメ	<i>Larus fuscus</i>																				○						
80		ウミスズメ科	カモメ類	<i>Larus sp.</i>				○	○							○						○						○		
81			ケイマフリ	<i>Cepphus carbo</i>				○														○						○		
82			ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus</i>				○				○						○								○		○		
83			ウトウ	<i>Cerorhinca monocerata</i>				○			○								○	○		○				○			○	
84	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		○									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	当別町		
85		タカ科	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>		○											○	○	○	○		○	○	○	○	○		新十津川町、当別町		
86			トビ	<i>Milvus migrans</i>		○					○		○	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○		当別町	
87			オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	新十津川町、当別町、月形町、美瑛市	
88			オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	○				○		○	○	○		○	○	○						○	○	○	○	○	○	当別町	
89			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>										○	○	○	○					○	○			○	○		当別町	
90			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>													○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		新十津川町、当別町	
91			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>							○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	新十津川町、当別町	
92			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>										○	○	○	○					○	○	○	○	○	○		新十津川町、当別町	
93			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	○	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	新十津川町、当別町、月形町
94			ケアシノスリ	<i>Buteo lagopus</i>							○		○		○									○						
95			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>																	○				○					
96			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	○						○		○	○	○	○				○	○		○	○	○				当別町	
97	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>		○													○											
98	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>		○					○	○				○	○	○						○	○	○				
99	キツツキ目	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>		○											○		○				○	○						
100		キツツキ科	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>		○							○	○	○	○	○	○	○					○	○	○				
101			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	○	○					○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○				
102			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>		○														○				○	○					
103			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	○	○					○	○	○	○	○	○				○	○		○	○	○	○				
104			クマゲラ	<i>Dryocopus martius</i>	○	○						○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○			当別町	
105			ヤマゲラ	<i>Picus canus</i>	○	○					○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○			
106	ハヤブサ目	ハヤブサ科	コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>												○								○						
107			チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>																	○		○	○				当別町		
108			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>													○		○	○		○	○		○	○	○	○	当別町	
109	スズメ目	モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>		○											○	○	○	○		○	○	○	○					
110			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>		○													○	○	○		○		○	○				
111			オオモズ	<i>Lanius excubitor</i>														○							○					
112		カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	○	○					○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○				
113			ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>																		○	○		○					
114			ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus</i>																			○			○				
115			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○			
116	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○																										

表 3－2 （18） 全調査確認種一覧 (3/4)

No.	目 名	科 名	種 名		調査項目別確認種									調査時期別確認種										調査エリア						
			和 名	学 名	冬鳥	繁殖鳥	洋上	荒任	海任	ワ渡	春渡	秋渡	猛禽	12月	1月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	A	B	C	D	E	市外	
116		キクイタダキ科	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○		当別町	
117		シジュウカラ科	ハシブトガラ	<i>Poecile palustris</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
118			コガラ	<i>Poecile montanus</i>	○					○	○	○	○	○	○		○			○			○	○	○	○	○			
119			ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
120			ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○		当別町	
121			シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
122		ヒバリ科	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>		○					○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○	○			
123		ツバメ科	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>									○					○	○	○					○	○				
124			ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>								○					○		○					○		○	○			
125			イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>								○					○	○	○	○				○	○	○	○			
126		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
127		ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>		○						○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
128			ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>		○												○	○	○				○	○	○				
129		エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○				○	○	○	○	○			
130		ムシクイ科	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>		○													○					○						
131			エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>		○							○	○	○			○	○	○				○	○	○	○			
132			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>		○							○					○	○	○				○	○	○				
133		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>		○							○	○	○			○	○	○			○	○	○	○				
134		センニュウ科	シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>								○								○				○						
135			エゾセンニュウ	<i>Locustella fasciolata</i>		○						○						○	○	○				○	○	○				
136		ヨシキリ科	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>		○						○						○	○	○				○	○	○	○			
137			コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>		○							○	○				○	○	○			○	○	○	○				
138		レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>	○						○			○	○									○	○					
139		ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>	○	○					○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
140		キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	○	○					○	○	○		○	○		○	○				○	○	○	○	○			
141		ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>		○						○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○			
142		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	○	○						○	○		○			○	○	○				○	○	○	○	○		
143			コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>		○							○	○				○	○	○			○		○	○	○			
144		カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	○	○								○				○	○					○	○					
145		ヒタキ科	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>		○												○	○							○				
146			トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>		○						○		○				○	○	○	○			○	○	○	○			
147			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>		○						○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○			
148			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>									○											○		○			当別町	
149			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>									○											○		○				
150			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>		○							○	○				○	○	○			○	○	○	○			当別町	
151			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	○						○		○		○	○							○	○	○	○			当別町	
-			ツグミ類	<i>Turdus</i> sp.								○												○		○	○		当別町、月形町	
152			コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>		○												○							○					
153			ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>		○							○	○				○	○	○			○	○	○	○				
154			コルリ	<i>Luscinia cyane</i>		○												○	○	○				○	○	○				
155			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>									○											○			○			
156			ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>		○						○	○	○				○	○	○	○			○		○	○	○		
157			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>		○								○				○	○	○				○	○	○				
158			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>		○												○						○						
159			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>		○							○	○				○	○	○			○		○	○	○			
160			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>		○							○	○				○	○	○			○		○	○	○	○		
161			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>		○							○	○				○	○	○			○		○	○	○			
162		イワヒバリ科	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>									○												○					
163		スズメ科	ニュウナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>		○							○					○	○	○	○			○	○	○	○			
164			スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○		
165		セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>		○						○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○	○		
166			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>		○						○	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○			
167			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	○								○			○			○	○				○						
168			ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>		○							○	○	○			○	○				○	○	○	○				
169			セジロタヒバリ	<i>Anthus gustavi</i>									○										○			○				
170			ムネアカタヒバリ	<i>Anthus cervinus</i>									○					○									○			
171			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>										○									○	○	○				当別町	

表 3－2 （18） 全調査確認種一覧(4/4)

No.	目 名	科 名	種 名		調査項目別確認種								調査時期別確認種										調査エリア							
			和 名	学 名	冬鳥	繁殖鳥	洋上	荒任	海任	ワ渡	春渡	秋渡	猛禽	12月	1月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	A	B	C	D	E	市外	
172		アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>						○	○	○		○							○	○	○		○	○				
173			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○	○					○		○	○				○	○	○		○	○	○	○	○	○		当別町	
174			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	○	○					○	○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○			
175			ベニヒワ	<i>Carduelis flammea</i>	○						○				○	○							○	○		○				
176			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>		○						○	○	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○		当別町	
177			ギンザンマシコ	<i>Pinicola enucleator</i>	○										○										○					
178			イスカ	<i>Loxia curvirostra</i>		○						○	○					○	○					○		○	○	○		
179			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	○							○	○	○		○	○						○	○	○	○	○		当別町	
180			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>		○						○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○		当別町
181			イカル	<i>Eophona personata</i>		○								○	○				○	○	○		○	○	○					
182		ホオジロ科	ユキホオジロ	<i>Plectrophenax nivalis</i>				○								○									○					
183			シラガホオジロ	<i>Emberiza leucocephalos</i>								○												○						
184			ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>		○						○	○	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○		当別町		
185			ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>		○						○		○			○	○	○	○				○	○	○	○			
186			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								○	○				○						○	○	○	○	○		当別町	
187			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>									○											○		○				
188			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>		○						○	○	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			
189			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>		○							○	○				○	○	○	○			○	○	○	○			
190			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>		○							○	○	○			○	○	○	○			○		○	○	○		当別町
計	18 目		47 科	190 種		18科 38種	36科 87種	6科 12種	6科 17種	6科 7種	22科 53種	34科 107種	35科 127種	36科 96種	22科 53種	18科 38種	6科 17種	35科 107種	38科 93種	38科 90種	34科 85種	5科 8種	28科 87種	32科 106種	37科 106種	42科 127種	40科 144種	37科 118種	11科 36種	17科52種
47科189種																														

注1) 種名、学名及び配列等は、次の文献に拠った。

- 日本鳥学会(2012)「日本鳥類目録 改訂第7版」日本鳥学会
- 環境省(2012)「環境省第4次レッドリスト」
- 北海道環境生活部環境室自然環境課（2001）「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック2001」北海道

注2.) 調査項目別確認種における記号は以下の調査を示す。

冬鳥：冬鳥調査、繁殖鳥：繁殖期鳥類調査、洋上：洋上センサス、荒任：荒天時任意調査、海任：海上任意調査、ワ渡：海ワシ類の渡り調査、春渡：春季渡り鳥調査、秋渡：秋季渡り鳥調査、猛禽：猛禽類調査

注3.) ガン類、ハクチョウ類、カモ類、カイツブリ類、アビ類、ミズナギドリ科、カモメ類、ツグミ類はいずれも種の同定に至らなかったものであり、他種と重複の可能性がある場合は種数の合計から除いた。

表 3-2 (19) 貴重な鳥類一覧

No.	科 名	種 名	貴 重 性					調査エリア					市外
			①	②	③	④	⑤	A	B	C	D	E	
1	キジ科	エゾライチョウ				DD	Nt	○					
2		ウズラ				VU	Nt		○				
3	カモ科	ヒシクイ	天			VU/NT	N				○		美唄市、江別市、岩見沢市
4		マガン	天			NT	N		○	○	○	○	月形町、美唄市、江別市、岩見沢市
5		シジュウカラガン		内		CR	Vu						美唄市
-		ガン類	-	-	-	-	-	○	○				当別町、江別市、札幌市
6		オシドリ				DD	Nt	○	○	○	○		当別町
7		シノリガモ				LP		○	○		○	○	
8	ミズナギドリ科	オオミズナギドリ					Cr					○	
9	ウ科	ヒメウ				EN	En		○	○		○	
10	シギ科	ヤマシギ					N			○			
11		オオジシギ				NT	Nt	○	○	○			当別町
12		ツルシギ				VU	Vu				○		
13		タカブシギ				VU	Vu				○		
14		ハマシギ				NT	Nt				○		
15	カモメ科	ズグロカモメ				VU					○	○	
16		ウミネコ					Nt	○	○	○	○	○	増毛町
17		オオセグロカモメ					Nt	○	○	○	○	○	
18	ウミスズメ科	ケイマフリ				VU	Vu					○	
19		ウミスズメ				CR	Vu		○				
20	ミサゴ科	ミサゴ				NT	Nt	○	○	○	○	○	当別町
21	タカ科	ハチクマ				NT	Nt	○	○	○			新十津川町、当別町
22		オジロワシ	天	内		VU	Vu	○	○	○	○	○	新十津川町、当別町、月形町、美唄市
23		オオワシ	天	内		VU	Vu	○	○	○	○	○	当別町
24		チュウヒ		内		EN	En			○	○		当別町
25		ツミ					Dd	○	○	○			新十津川町、当別町
26		ハイタカ				NT	Nt	○	○	○	○	○	新十津川町、当別町
27		オオタカ				NT	Nt	○	○	○	○		新十津川町、当別町
28		イヌワシ	天	内		EN	Dd		○				
29		クマタカ		内		EN	En	○	○	○			当別町
30	ブッポウソウ科	ブッポウソウ				EN		○	○				
31	キツツキ科	オオアカゲラ					Dd	○	○				
32		クマゲラ	天			VU	Vu	○	○	○			当別町
33	ハヤブサ科	ハヤブサ		内		VU	Vu		○	○	○	○	当別町
34	モズ科	アカモズ				EN	En		○	○			
35	ムシクイ科	オオムシクイ				DD	Lp	○					
36	アトリ科	ギンザンマシコ					Nt		○				
37	ホオジロ科	ホオアカ					Nt	○	○	○	○		
計	16 科	37 種	6種	7種	0種	29種	34種	20種	25種	20種	18種	14種	7科17種

注1) 選定基準の欄中は、それぞれ以下に示すとおりである。

① 文化財保護法：文化財保護法（昭和25年5月30日 法律第214号）

特：特別天然記念物、天：天然記念物

② 種の保存法（絶滅法）：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年6月5日 法律第75号）

内：国内希少野生動植物種、緊：緊急指定種

③ 道 文化財保護条例：北海道文化財保護条例（昭和30年11月30日 北海道条例第83号）

道天：道指定天然記念物

④ 環境省レッドリスト2018：環境省（2018）「環境省レッドリスト2018」

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑤ 北海道レッドリスト2017：北海道（2017）「北海道レッドリスト2017」

Ex：絶滅、Cr：絶滅危惧IA類、En：絶滅危惧IB類、Vu：絶滅危惧II類、

Nt：準絶滅危惧、Dd：情報不足、N：留意、Lp：絶滅のおそれのある地域個体群

注2) 種名、学名及び配列等は、主に次の文献に拠った。

日本鳥学会（2012）「日本鳥類目録 改訂第7版」日本鳥学会

注3) ヒシクイは環境省レッドリスト2018において、亜種ヒシクイ（VU）、亜種オオヒシクイ（NT）それぞれに指定されており、貴重性欄には両亜種の指定を併記した。

注4) ガン類は現地においてヒシクイ、マガン、シジュウカラガンの可能性があり、これらはいずれも重要な鳥類であることから重要な鳥類に含めた。

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3-2 (27) 重要な鳥類確認位置図(1/38) エゾライチョウ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (28) 重要な鳥類確認位置図 (2/38) ウズラ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (29) 重要な鳥類確認位置図 (3/38) ヒシクイ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (30) 重要な鳥類確認位置図(4/38) マガン

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (31) 重要な鳥類確認位置図(5/38) シジュウカラガン

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (32) 重要な鳥類確認位置図(6/38) ガン類

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (33) 重要な鳥類確認位置図(7/38) オシドリ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (34) 重要な鳥類確認位置図 (8/38) シノリガモ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (35) 重要な鳥類確認位置図(9/38) オオミズナギドリ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (36) 重要な鳥類確認位置図(10/38) ヒメウ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (37) 重要な鳥類確認位置図(11/38) ヤマシギ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (38) 重要な鳥類確認位置図(12/38) オオジシギ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (39) 重要な鳥類確認位置図(13/38) ツルシギ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (40) 重要な鳥類確認位置図(14/38) タカブシギ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (41) 重要な鳥類確認位置図(15/38) ハマシギ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (42) 重要な鳥類確認位置図(16/38) ズグロカモメ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (43) 重要な鳥類確認位置図(17/38) ウミネコ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (44) 重要な鳥類確認位置図(18/38) オオセグロカモメ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (45) 重要な鳥類確認位置図(19/38) ケイマフリ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (46) 重要な鳥類確認位置図(20/38) ウミスズメ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (47) 重要な鳥類確認位置図(21/38) ミサゴ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (48) 重要な鳥類確認位置図(22/38) ハチクマ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (49) 重要な鳥類確認位置図(23/38) オジロワシ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (50) 重要な鳥類確認位置図(24/38) オオワシ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (51) 重要な鳥類確認位置図(25/38) チュウヒ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (52) 重要な鳥類確認位置図 (26/38) ツミ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (53) 重要な鳥類確認位置図(27/38) ハイタカ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (54) 重要な鳥類確認位置図(28/38) オオタカ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (55) 重要な鳥類確認位置図(29/38) イヌワシ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (56) 重要な鳥類確認位置図(30/38) クマタカ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3-2 (57) 重要な鳥類確認位置図 (31/38) ブッポウソウ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (58) 重要な鳥類確認位置図(32/38) オオアカゲラ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (59) 重要な鳥類確認位置図(33/38) クマゲラ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (60) 重要な鳥類確認位置図(34/38) ハヤブサ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (61) 重要な鳥類確認位置図(35/38) アカモズ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (62) 重要な鳥類確認位置図 (36/38) オオムシクイ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (63) 重要な鳥類確認位置図 (37/38) ギンザンマシコ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (64) 重要な鳥類確認位置図(38/38) ホオアカ

希少生物の生息地等に関する
情報につき非公表

図 3 - 2 (65) 重要な鳥類 (重要種) 確認位置図 総括図 (平成 29 ~ 30 年 全調査)

3.3 植生

3.3.1 調査の概要

石狩市域の植生の把握及び生態系の基盤情報として、衛星画像の解析により植生図を作成した。教師データ取得のため平成 30 年 6 月 21～22 日に現地調査を実施した。

3.3.2 結果の概要

(1) 植生調査（現地調査）

ア) 調査方法

今後のゾーニングに向けた基礎資料の取得へ向けた植生状況の把握を目的とした群落組成調査を実施した。

調査は、繁殖期鳥類調査実施地点で行い、各地点の代表的な箇所調査方形区を 1 箇所設定して群落の種組成及び階層構造の把握を行った。方形区の規模は、草原環境では $2 \times 2\text{m} \sim 5 \times 5\text{m}$ 、樹林環境では $10 \times 10\text{m} \sim 20 \times 20\text{m}$ 程度とし、植物の優占度及び群度の測定はブロン・ブロンケ法に基づいて行った。



群落組成調査

写真 3-3 (1) 調査風景

イ) 調査時期

調査は 6 月に実施し、調査時期は表 3-3(1)に示すとおりである。

表 3-3 (1) 調査時期一覧(植生調査)

調査項目	調査時期	調査内容
植生調査	平成 30 年 6 月 21 日、22 日	群落組成調査

ウ) 調査地点

調査地点は図 3-3(1)に示すとおりであり、繁殖期鳥類調査実施地点のうち畑、水田、市街地を除く 68 地点に設定した。

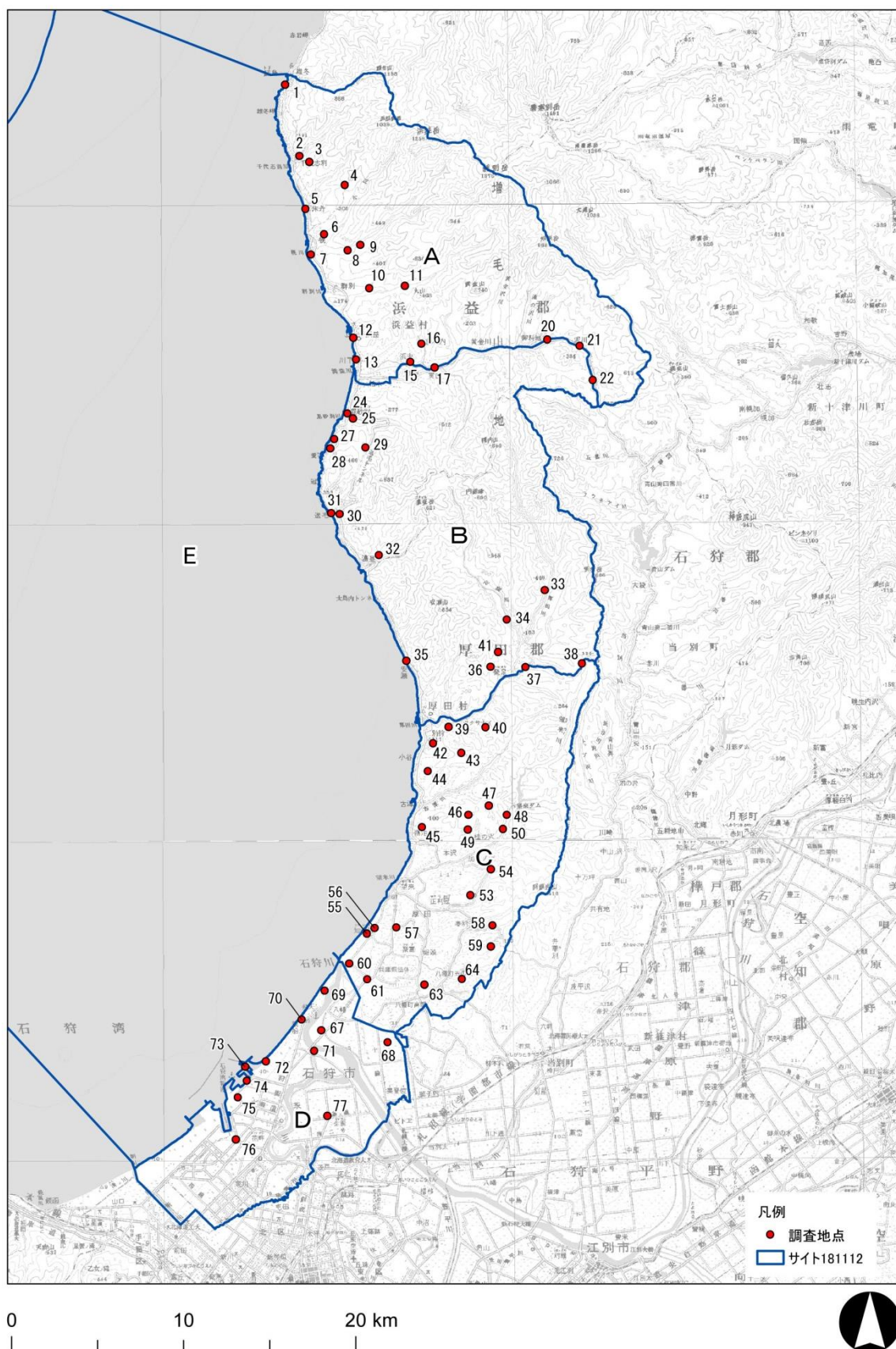


図3-3(1) 植生調査 調査地位置図

エ) 調査結果

調査地点を大別すると、樹林環境である広葉樹林、針葉樹林、針広混交林、草地環境である草原、海岸草地、裸地、人為的環境である畑や水田、市街地等に分類される。

調査は広葉樹林 31 地点、針葉樹林 5 地点、針広混交林 3 地点、草原 24 地点、海岸草地 3 地点、裸地 2 地点で実施し、結果は表 3-3(2)に示すとおりである。

表 3-3 (2) 植生調査結果

調査地 No.	群落名	方形区 面積	優占種					備考
			I. 高木層	II. 亜高木層	III. 低木層	IV1. 草本層	IV2. 草本層	
1	崖地植生	2×2m	-	-	-	オオイトリ	-	
2	エゾイタヤ-サウシバ林	20×20m	シナノキ	サウシバ	サウシバ	クマイザサ	-	
3	ダケカンバ林	20×20m	ダケカンバ	シナノキ	シナノキ	チシマザサ	-	
4	ミズナラ-シラカンバ林	20×20m	ミズナラ	シラカンバ	オニグルミ	チシマザサ	-	
5	オオイトリ群落	2×2m	-	-	-	オオイトリ	-	
6	エゾイタヤ-ミズナラ林	20×20m	ミズナラ	エゾイタヤ	エゾイタヤ	チシマザサ	-	
7	チシマザサ群落	10×10m	エゾイタヤ	-	エゾニワトコ	チシマザサ	-	
8	カラマツ植林	20×20m	カラマツ	アカイタヤ	アカイタヤ	チシマザサ	-	
9	エゾイタヤ-シナノキ林	20×20m	シナノキ	ホオノキ	オオカメノキ	チシマザサ	-	
10	ヤマナラシ林	20×20m	ヤマナラシ	ハリエンジュ	ヤマグワ	クマイザサ	-	
11	ヤチダモ林	20×20m	ヤチダモ	オニグルミ	ハイスガヤ	チシマザサ	-	
12	海岸断崖植生	3×3m	-	-	ヤマグワ	ススキ	-	
13	ハマヒルガオ-ハマニンニク群落	2×2m	-	-	-	ハマヒルガオ	-	
14	-							水田のため調査未実施
15	エゾイタヤ-シナノキ林	20×20m	エゾイタヤ	エゾイタヤ	エゾイタヤ	クマイザサ	-	
16	カラマツ植林	20×20m	カラマツ	ミズナラ	リウツギ	クマイザサ	-	
17	オオイトリ群落	5×5m	-	-	-	オオイトリ	オオヨモギ	
18	-							到達不可(広葉樹林)のため調査未実施
19	-							畑地のため調査未実施
20	ササ草原	4×4m	-	-	-	チシマザサ	-	
21	トドマツ植林	20×20m	トドマツ	シラカンバ	-	ツツウルシ	-	
22	ハルニレ-ヤチダモ林	20×20m	ハルニレ	ハルニレ	ヤマグワ	チシマザサ	-	
23	-							水田のため調査未実施
24	ササ草原	4×4m	-	-	-	クマイザサ	-	
25	オオイトリ群落	5×5m	-	-	-	オオイトリ	クルマバソウ	
26	-							水田のため調査未実施
27	ヤマナラシ林	20×20m	チョウセンヤマナラシ	ニガキ	サルナシ	チシマザサ	-	
28	エゾイタヤ-トドマツ林	20×20m	ホオノキ	ナナカマド	エゾイタヤ	チシマザサ	-	
29	雑草草原	2×2m	-	-	-	オオアワダチソウ	-	
30	エゾイタヤ-シナノキ林	20×20m	エゾイタヤ	エゾイタヤ	エゾイタヤ	チシマザサ	-	
31	雑草草原	2×2m	-	-	-	クダ属sp.	-	
32	エゾイタヤ-シナノキ林	20×20m	シナノキ	エゾイタヤ	エゾイタヤ	チシマザサ	-	
33	ミズナラ-オオバボダイジュ林	20×20m	ミズナラ	ミズナラ	オオバボダイジュ	チシマザサ	-	
34	ヤチダモ人工林	20×20m	ヤチダモ	ケヤマハンノキ	エゾイタヤ	クマイザサ	-	
35	エゾイタヤ林	10×10m	-	-	エゾイタヤ	スゲ属sp.	-	
36	ミズナラ-トドマツ林	20×20m	ミズナラ-トドマツ	アカイタヤ	アカイタヤ	チシマザサ	-	
37	エゾイタヤ-トドマツ林	20×20m	トドマツ	トドマツ	エゾイタヤ	クマイザサ	-	
38	オオイトリ群落	2×2m	-	-	-	オオイトリ	-	
39	ハルニレ林	20×20m	オニグルミ	ハルニレ	エゾイタヤ	オオハシゴソウ	-	
40	カラマツ植林	20×20m	カラマツ	シラカンバ	リウツギ	クマイザサ	-	
41	ミズナラ-トドマツ林	20×20m	ミズナラ	ミズナラ	アカイタヤ	チシマザサ	-	
42	シラカンバ林	10×10m	シラカンバ	シラカンバ	ミズナラ	クマイザサ	-	
43	ヨシ群落	2×2m	-	-	-	ヨシ	-	
44	ヤマナラシ-ミズナラ林	20×20m	ヤマナラシ	ミズナラ	リウツギ	クマイザサ	-	
45	ハルガヤ草地	2×2m	-	-	-	ハルガヤ	-	
46	ヨシ群落	2×2m	-	-	-	ヨシ	-	
47	ダケカンバ林	10×10m	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	チシマザサ	-	
48	ミズナラ林	20×20m	ミズナラ	ミズナラ	ハウチワカエデ	クマイザサ	-	
49	クマイザサ群落	2×2m	-	-	-	クマイザサ	-	
50	ケヤマハンノキ林	20×20m	シラカンバ	ケヤマハンノキ	ケヤマハンノキ	オオアワダチソウ	-	
51	-							到達不可(常緑針葉樹林)のため調査未実施
52	-							市街地のため調査未実施
53	人工草地	2×2m	-	-	-	キバナツツリノギ	-	
54	シラカンバ林	20×20m	シラカンバ	ミズキ	ナナカマド	クマイザサ	-	
55	カシワ低木林	10×10m	-	-	カシワ	ナガハグサ	-	
56	ヨシ群落	5×5m	-	-	-	ヨシ	-	
57	ススキ草原	3×3m	-	-	-	ススキ	-	
58	トドマツ植林	20×20m	トドマツ	トドマツ	-	クマイザサ	-	
59	ケヤマハンノキ林	20×20m	ケヤマハンノキ	ケヤマハンノキ	シラカンバ	オオヨモギ	-	
60	カシワ林	15×15m	カシワ	エゾイタヤ	アズキナシ	クルマバソウ	-	
61	牧草地	2×2m	-	-	-	クサヨシ	-	
62	-							畑地のため調査未実施
63	広葉樹林-カラマツ林	20×20m	カラマツ	エゾイタヤ	ナナカマド	クマイザサ	-	
64	オオアワダチソウ-ススキ群落	3×3m	-	-	-	オオアワダチソウ	-	
65	-							市街地のため調査未実施
66	-							水田のため調査未実施
67	オオイトリ群落	5×5m	-	-	-	オオイトリ	オオヨモギ	
68	雑草草原	2×2m	-	-	-	オオヨモギ	-	
69	ススキ-ハマナス群落	2×2m	-	-	-	ハマナス	-	
70	ススキ-ハマナス群落	5×5m	-	-	-	ススキ	-	
71	ハンノキ群落	20×20m	ハンノキ	ハンノキ	マユミ	ミズバショウ	-	
72	ススキ草原	5×5m	-	-	-	ハマヒルガオ	-	
73	裸地	5×5m	-	-	-	-	-	
74	チガヤ群落	5×5m	-	-	-	チガヤ	-	
75	カシワ林	10×10m	カシワ	アズキナシ	エゾイタヤ	チシマザサ	-	
76	裸地	5×5m	-	-	-	-	-	
77	エゾイタヤ-シナノキ林	20×20m	ハリギリ	アズキナシ	ハウチワカエデ	チシマザサ	-	
78	-							市街地のため調査未実施
79	ハリエンジュ林	-	ハリエンジュ	カシワ	カシワ	クマイザサ	-	大学敷地内のため立ち入りできず一部データのみ記録

(2) 衛星画像解析による植生図の作成

石狩市域 79 地点の現地調査で確認した植生調査結果を教師データとして、平成 29 年 6 月に撮影された衛星画像の植生判読を行った。

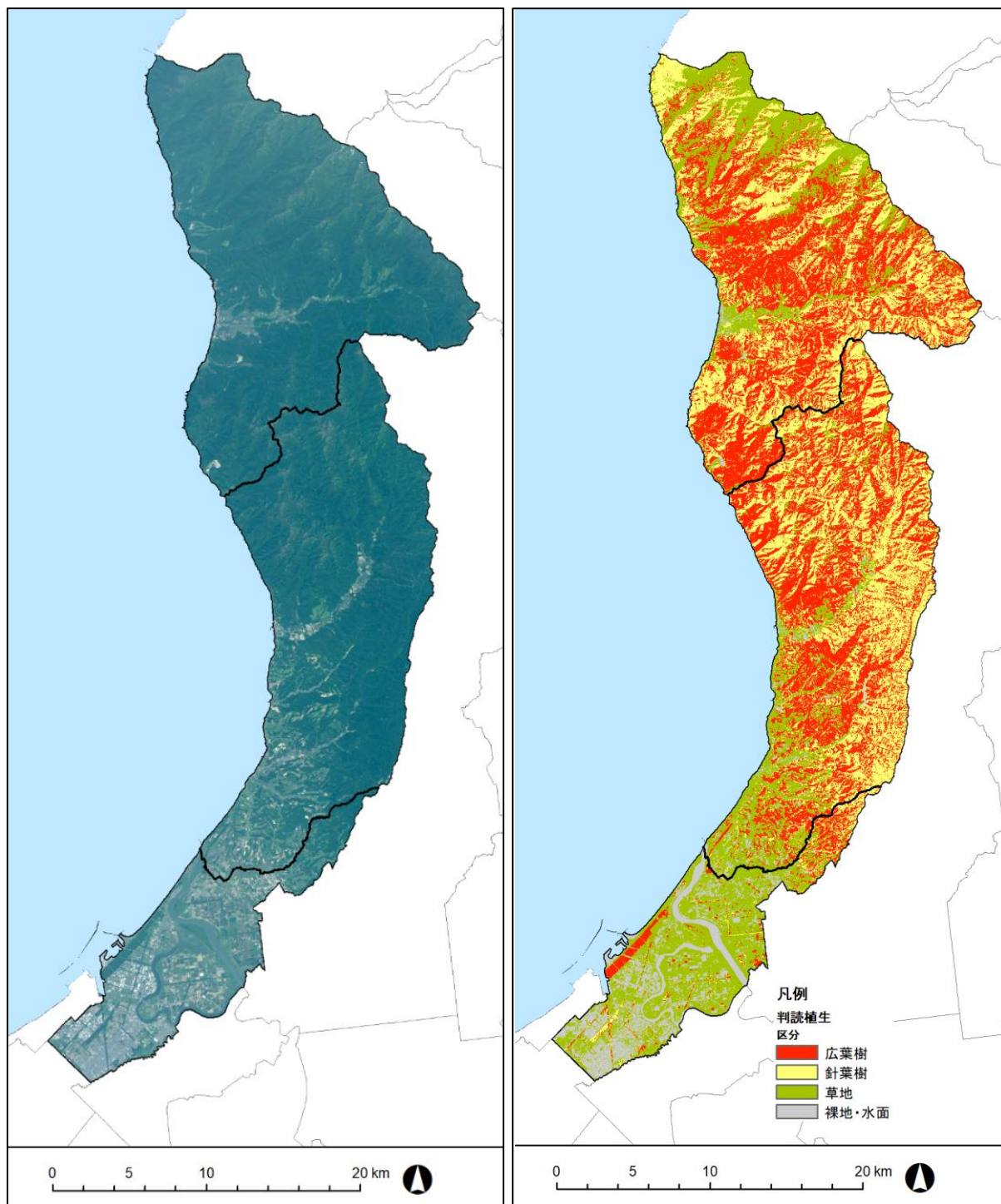


図 3-3 (2) 衛星画像の判読による植生分布図

3.4 海域生態系

3.4.1 調査の概要

現地調査として、鳥類の洋上センサスと同時に、船上からの海産哺乳類等の海生生物を対象として目視調査を実施した。

3-4 (1) 調査時期一覧(鳥類の洋上センサス調査と同時に実施)

調査項目	調査時期、時間	調査内容
洋上センサス調査	平成30年5月28日(古潭漁港沖、7:00-11:30) 平成30年8月8日(浜益漁港沖、6:35-11:00)	船上からの観察

また、現地調査のほかに漁業者等へのヒアリングと既往調査により石狩市の地先海域に生息する海産哺乳類等の出現状況を整理した。

3.4.2 結果の概要

(1) 洋上センサス調査(現地調査)

鳥類と同時に実施した二回の洋上センサス調査では、海面を遊泳している鯨類(クジラ、イルカ類)、鰭脚類(アシカ、トドなど)また、海岸に上陸している鰭脚類は確認されなかった。

(2) ヒアリング調査

ヒアリング調査では、石狩湾新港付近を含め、石狩市の沿岸域に広くトドが生息している情報が得られた。イルカ類についても種は不明であるが目撃情報が得られた。

魚介類については、主要な水産生物としてニシン、サケの漁場が沿岸に形成されるほか、シャコ、タコ、タラなどが石狩市地先の海域に広く生息し、全域が良好な漁場として利用されている。

沿岸にはコンブなどの藻場の他にも、砂質の海底からなる沿岸浅海には、アマモ場が形成されている可能性があるとの情報も得られた。

(3) 文献等調査

環境省により、海洋の生物多様性の保全と持続可能な利用の推進に資することを目的に「生物多様性の観点から重要度の高い海域」として石狩湾が抽出されている。石狩湾一帯を含む水深50m以浅の浅い湾内の砂場は、カレイ類、ニシンの産卵場でその他イカナゴ、シャコ、ジンドウイカなどの生息域であり生産性が高い海域であることが、選定理由などとしてあげられている。

海産哺乳類の確認情報として、海産哺乳類ストランディングデータベース(国立科学博物館)より作成した、石狩市地先の海域における漂着個体等の確認状況をしめした。

鯨類として、オウギハクジラ、ツチクジラ、ネズミイルカが沿岸で確認されている。



出典：海産哺乳類ストランディングデータベース（国立科学博物館）（平成 28 年 1 月末時点）

図 3-4（1） 海棲哺乳類の確認状況

3.5 景観

3.5.1 調査の概要

石狩市内における主要な眺望点からの眺望について、景観調査として現地調査を行い、眺望写真の撮影、眺望点の特性の把握を行った。

これら、眺望点からの景観に対して、フォトモンタージュにより風車による景観の変化、影響等について検討を行った。

3.5.2 結果の概要

(1) 主要な景観資源

ア) 調査方法

既存資料、アンケート等により主要な景観資源として抽出した 7 箇所について、現地調査を行い、景観資源の現況、景観を構成する要素、眺望の状況等について確認、写真による記録を行った。

イ) 調査時期

現地調査は平成 29 年 10 月から平成 30 年 10 月の間に実施した。

ウ) 調査地点

調査地点を図 3-5(1)に示す。

エ) 調査結果

調査結果を表 3-5(1)～(7)に示す。

表 3－5（１） 主要な景観資源（白銀の滝）

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況
白銀の滝 【概要】 「石狩宝自慢」に展望地として掲載。暑寒連峰から流れ出たせせらぎが雄冬岬の断崖で滝となって日本海にそそぐ。昭和 56 年 11 月国道 231 号開通記念に命名。 【景観の構成】 切り立った断崖に黒い岩肌と白の滝筋のコントラストに、周辺の木々の緑がアクセントを添える。背後は日本海の眺望が開ける。	(2018 年 7 月 12 日撮影) (2018 年 10 月 21 日撮影) 背後の日本海の眺望 (2018 年 7 月 12 日撮影)

表 3-5 (2) 主要な景観資源（暑寒別の山並みと厚田丘陵）

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況	
暑寒別の山並みと厚田丘陵 【概要】 市民アンケート、現地踏査による。石狩市の浜益から厚田にかけての代表的な景観となっている。 【景観の構成】 国道 231 号(オロロンライン)を北上すると、望来辺りで視界が開け、手前に厚田の台地、背後に石狩湾を囲むように暑寒別の山並みが遠望できる。 台地上は時期によっては麦等が栽培され、季節に応じた色合いを呈する（嶺泊駐車場公園など）。		
	望来坂から厚田・浜益を望む (2018 年 5 月 27 日撮影)	浜益沖より暑寒別の山並みを望む (2018 年 8 月 8 日撮影)
		
	国道 451 号実田橋より黄金山を望む (2018 年 10 月 21 日撮影)	
		
	嶺泊駐車場公園から石狩市中心方向、厚田丘陵の畑地の景観 (2018 年 5 月 28 日撮影)	
		
	川下海浜公園から暑寒別の山並みを遠望 (2018 年 10 月 21 日撮影)	

表 3－5（3） 主要な景観資源（海岸地形）

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況
海岸地形 石狩湾・断崖地形 【概要】 市民アンケート、現地踏査による。浜益から厚田にかけてみられる海岸の景観。 【景観の構成】 円弧上の海岸線と断崖、奇岩などからなる海岸地形、石狩湾、日本海の大海原。	 古潭漁港より南側を望む (2018 年 5 月 27 日)  浜益沿岸の奇岩地形（鷲岩） (2018 年 8 月 8 日撮影)
	 浜益沿岸の集落の風景 (2017 年 10 月 4 日撮影)
	 あいろーど厚田より石狩湾を望む (2018 年 8 月 7 日撮影)

表 3－5（４） 主要な景観資源（厚田川流域）

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況	
厚田川と流域の景観 【概要】 市民アンケート、現地踏査による。厚田川と流域の水田などからなる景観。 【景観の構成】 厚田川が形成する谷底低地に水田と背後の落葉広葉樹林で構成される里山の景観。	 厚田川上流方向 (2018 年 8 月 7 日撮影)	 厚田川下流方向 (2018 年 8 月 7 日撮影)
	 厚田川上流 (2018 年 10 月 21 日撮影)	 稲刈り後の田んぼと紅葉の里山 (2018 年 10 月 21 日撮影)
	 谷底低地の水田眺望 (2018 年 8 月 7 日撮影)	

表 3－5（5） 主要な景観資源（戸田記念公園）

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況	
戸田記念公園 【概要】 市民アンケートの他、「石狩宝自慢」に掲載。広大な公園内に8,000本のソメイヨシノが植栽され、石狩市のサクラの名所として知られる。 【景観の構成】 整備された園路に沿ってソメイヨシノが植栽され、所々に芝生広場やベンチが配置される。なお、公園は小高い丘の上に位置し、浜益地区の台地・丘陵景観が広く見渡せる。		
	サクラ開花期の状況 2018年5月14日撮影	サクラ開花期の状況 2018年5月14日撮影
		
	サクラ開花期の状況 2018年5月14日撮影	サクラ開花期の状況 2018年5月14日撮影
	 公園から北側の眺望。浜益地区の台地・丘陵景観を広く見渡せる。 (2018年4月27日撮影)	

表 3-5 (6) 主要な景観資源 (石狩浜)

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況	
石狩浜と海浜植生 【概要】 市民アンケート、現地踏査による。石狩市南部の代表的な景観となっている。砂丘・自然草原・天然海岸林が大規模に残る全国的に稀有な砂丘海岸。 【景観の構成】 砂丘・海浜植生が長い弓なりの海岸線に沿って広がる。石狩灯台と夕日の対比は人気のスポットとなっている。		
	はまなすの丘公園案内看板 (2018 年 7 月 11 日撮影)	木道が整備されている (2018 年 8 月 7 日撮影)
		
	海浜植物 (2018 年 8 月 7 日撮影)	石狩灯台を背景に沈む夕日 (2018 年 8 月 7 日撮影)
		
	日本海側遠望 (2018 年 7 月 11 日撮影)	
		
	石狩川河口側遠望 (2018 年 8 月 7 日撮影)	

表 3-5 (7) 主要な景観資源（石狩川河口と湿地）

名称・景観の構成等	現 地 の 状 況	
石狩川河口とマクンベツ湿地 【概要】 市民アンケート、現地踏査による。石狩市南部の代表的な景観となっている。マクンベツ湿原は「石狩宝自慢」に掲載。 【景観の構成】 石狩川と周辺低地から構成される。河岸にはマクンベツ湿原等、湿性草地在る。市街化が進んだ地域であり、景観を遮蔽する建物や樹林も多く、平坦な地形は小高い場所から眺望できる。	 石狩川河口 (2018 年 8 月 7 日撮影)	 マクンベツ湿原 (2018 年 8 月 7 日撮影)  防災広場の築山（津波避難高台）より石狩平野を望む（7 月 12 日撮影）  石狩川左岸より遠望（石狩河口橋）（2018 年 10 月 22 日撮影）

(2) 主要な眺望点からの景観

ア) 調査方法

既存資料、アンケート等により抽出した主要な眺望点について、図 3-5(2)に示す地点において現地調査を行い、眺望点の現況、眺望される景観等について確認、写真による記録を行った。

イ) 調査時期

現地調査は平成 29 年 10 月から平成 30 年 10 月の間に実施した。

ウ) 調査地点

調査地点を図 3-5(2)に示す。

エ) 調査結果

調査結果を表 3-5(8)～(13)に示す。

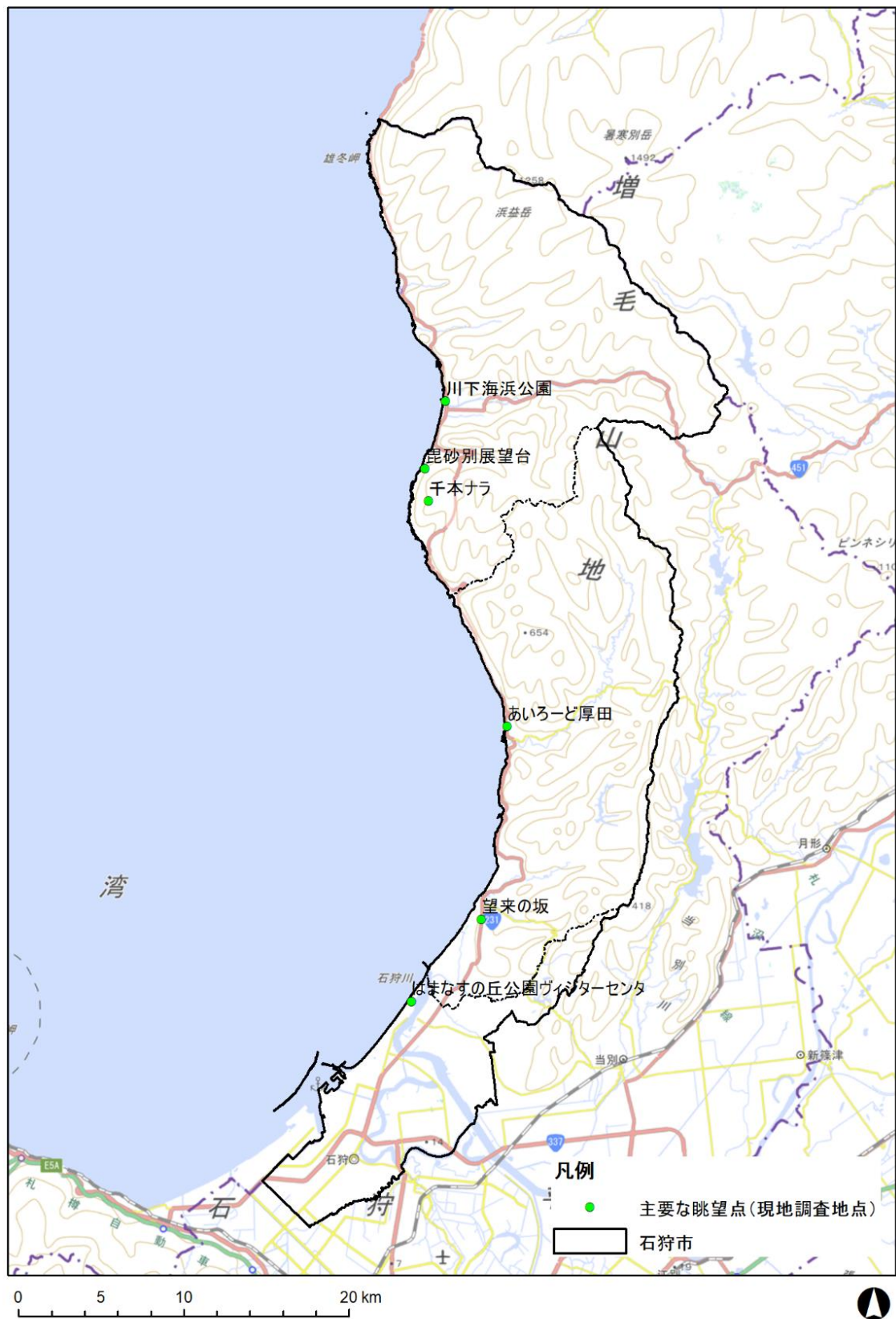


図 3-5 (2) 主要な眺望点 (現地調査箇所)

表 3-5 (8) 主要な眺望点からの景観（川下海浜公園）

名称・眺望の状況等	現地の状況
川下海浜公園 【概要】 ヒアリング及び「石狩宝自慢」に掲載。浜益地区で比較的大きな海浜公園。 【眺望点の状況】 広い駐車場を有し、広大な芝生広場と園路が整備され、小高い築山にはベンチが置かれ360°眺望できる。海水浴場も隣接し、トイレ・シャワーの他、炊事場もあり、芝生広場でのキャンプも可能。 【利用の状況】 日常的に地域住民の散策・憩いの場として機能しているとみられ、夏季は隣接する海水浴場が賑わうものとみられる。	 (2018年4月21日撮影)
【眺望景観】  東側（内陸側）、黄金山をはじめとする「暑寒別天売焼尻国定公園」の山脈を眺望（2018年4月21日撮影）  西側（海側）眺望（2018年4月21日撮影）	

表 3-5 (9) 主要な眺望点からの景観（毘砂別展望台）

名称・眺望の状況等	現 地 の 状 況	
毘砂別展望台 【概要】 「石狩宝自慢」に展望地として掲載。国定公園内の展望所。 【眺望点の状況】 広葉樹林の緑に囲まれ、展望所からは樹木の間から石狩湾、浜益の海岸線が一部眺望できる。全面に眺望は開けていない。 広場、駐車場、トイレが整備されている。		
	(2017 年 10 月 4 日撮影)	(2017 年 10 月 4 日撮影)
		
	(2017 年 10 月 4 日撮影)	(2017 年 10 月 4 日撮影)

表 3-5 (10) 主要な眺望点からの景観（千本ナラ）

名称・眺望の状況等	現 地 の 状 況	
千本ナラ 【概要】 「石狩宝自慢」に展望地として掲載。「新日本名木 100 選」に選定されている推定樹齢 820 年の大木が 3 本並ぶ。 【眺望点の状況】 広葉樹林の緑に囲まれた中にミズナラの巨木が点在する。林外への眺望は開けない。 遊歩道が整備され比較的歩きやすい。		
	(2018 年 7 月 12 日撮影)	(2018 年 7 月 12 日撮影)
		
	(2018 年 7 月 12 日撮影)	(2018 年 10 月 21 日撮影)

表 3-5 (11) 主要な眺望点からの景観（あいろ一ど厚田）

名称・眺望の状況等	現 地 の 状 況
道の駅石狩「あいろ一ど厚田」 【概要】 国道 231 号（オロロンライン）沿道に平成 30 年 4 月にオープン、市民アンケートのほか、今後の石狩市の観光拠点として選定。 【眺望点の状況】 広い駐車場を有し、建物には地場産品販売コーナー、飲食テナントショップの他、自然・歴史展示コーナーも設けられる。屋上の展望デッキからは、広く日本海を眺望できる。 【利用の状況】 オロロンラインを小樽一ど北間をドライブする観光客等に利用されている。	 (2018 年 4 月 27 日撮影)
【眺望景観】  厚田漁港・日本海を望む (2018 年 4 月 27 日撮影)  厚田漁港・日本海を望む (2018 年 8 月 7 日撮影)	

表 3-5 (12) 主要な眺望点からの景観（望来の坂）

名称・眺望の状況等	現 地 の 状 況
望来の坂 （ビューポイント「望み来る里の四季」） 【概要】 市民アンケートなどで挙げられているほか、現地踏査により、石狩市北部の地形・景観を眺望できる地点として選定。北海道開発局が設定するビューポイントパーキングとなっている。 【眺望点の状況】 国道 231 号（オロロンライン）沿道、駐車場のみ（7 台）の施設。厚田・浜益方向の眺望が高い視野から開ける。 【利用の状況】 駐車場のほかは特に施設がないため、利用者は多くはないとみられるが、写真撮影に興じる人も見受けられる。厚田市民風力発電所も遠望でき、風力発電所が立地した場合の景観についてイメージしやすい眺望点。	 (2018 年 4 月 27 日撮影)
【眺望景観】     2017 年 12 月 4 日撮影 2018 年 5 月 27 日撮影 2018 年 8 月 7 日撮影 2018 年 10 月 21 日撮影	

表 3-5 (13) 主要な眺望点からの景観（石狩浜）

名称・眺望の状況等	現地の状況
石狩浜 （はまなすの丘公園 ヴィジターセンター） 【概要】 石狩川の河口に形成された砂嘴（石狩浜）に広がる公園。ハマナスの他、多くの海浜植物が自生する。 【眺望点の状況】 ヴィジターセンターは駐車場、トイレを有し、建物には特産品販売所などの他、2 階のテラスからは石狩湾と石狩川が眺望できる。 【利用の状況】 遊歩道が整備され、散策や海浜植物を目当てに多くの人が訪れる。	 (2018 年 7 月 11 日撮影)
【眺望景観】  石狩川河口を望む（2018 年 7 月 11 日撮影）  ヴィジターセンター越しに日本海を望む（2018 年 7 月 11 日撮影）	

(3) フォトモンタージュ

現地調査を実施した主要な眺望点のうち、陸上景観の代表点として「望来の坂」、洋上景観の代表点として「あいろ一ど厚田」を選出し、これら眺望点からの風力発電施設（風車）の見え方について、風車が設置された場合を想定してのフォトモンタージュ（合成写真）を作成した。

フォトモンタージュの作成では、写真中に描く風車の規格として、ハブ（発電機）の高さ 84m、羽の最高到達高さ 140m、出力が 3300kw を想定した。

眺望位置は、厚田区の望来の坂道路端駐車スペース（ビューポイント「望み来る里の四季」）とあいろ一ど厚田の駐車場の二カ所とし、「望来の坂」からは既存の風力発電施設を含む眺望に新たに設置距離の異なる（A：800m、B：1600m、C：1900m、D：5000m）風車を配置した。

石狩湾を広く眺望できる「あいろ一ど厚田」からは、洋上 5000m の位置に風車を配置した。

フォトモンタージュの作成には、人の視野に近い範囲とされる 60° の画角で景観調査時に撮影した写真を使用した。



望来坂 道路端駐車スペース



あいろ一ど厚田 駐車場

図3-5(3) フォトモンタージュに使用した景観写真



図 3-5 (4) 景観中に配置した風車の位置等 (望来の坂)

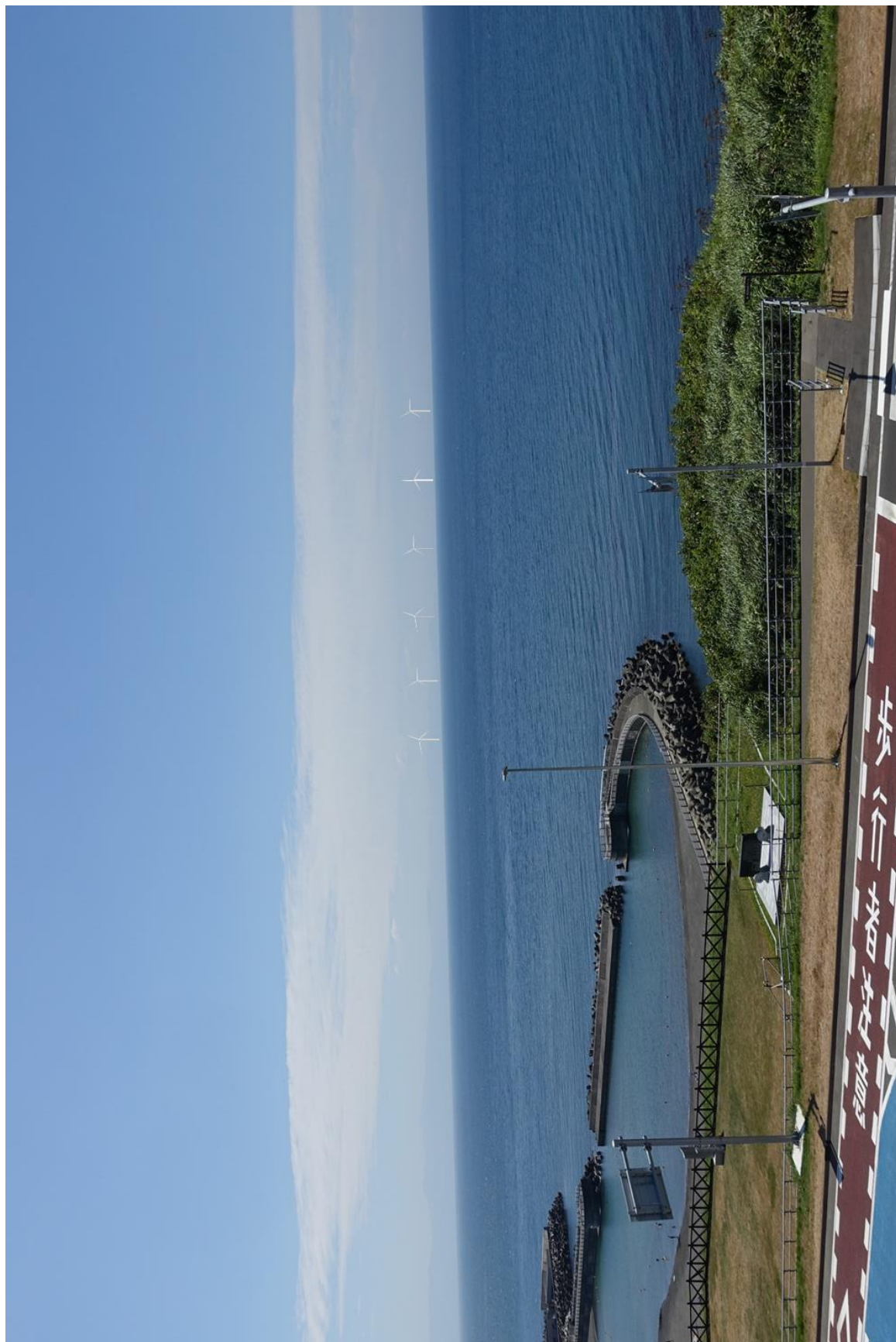


写真中の風車 (A～D) は距離と大きさを例示するための合成写真 (フォトモンタージュ)

図3-5 (5) フォトモンタージュ (望来の坂)



図 3-5 (6) 景観中に配置した風車の位置等（あいろーど厚田）



写真中沖合の風車は距離と大きさを例示するための合成写真（フォトモンタージュ）

図3-5（7） フォトモンタージュ（あいりーど厚田）